

いしずえの碑

設置工事、ほぼ完了

昨年、「いしずえの碑」建立委員会(国民救援会、共産党、いしずえ会、国賠同盟で構成)を立ち上げ、建立募金活動と並行して、碑の作製をすすめてきました。11月に建立する計画でしたが、12月末に設置工事がほぼ完了しました。(設置場所は富山市婦中町田島558) まだ周辺工事は残っています。

竣工式は、5月に開催

1/19「建立委員会」で確認

- 1月19日に第3回建立委員会を開催し、以下のことを確認しました。同盟から野上副会長と吉田事務局長が出席。
- 建立募金の到達… 265万円/目標;350万円(1/20現在) 目標達成にむけて、引き続き取り組む。
 - 竣工式と「第1回顕彰のつどい」
 - *竣工式と「顕彰のつどい」は、別々に開催するのが本来の姿であるが、同一日に行うことを確認した。
 - ◇開催予定日… 2021年5月22日(土) とする。
 - ◇会場… 「いしずえの碑」前
 - ◇第1部;「碑」竣工式 ◇第2部;顕彰のつどい
 - 今後の課題
 - ◇「顕彰」の基準づくり… 「顕彰の申し合わせ」の案が提出され検討した。
 - ◇建立後の「組織」… 年1回の「顕彰のつどい」、「碑」の維持管理などを担う組織として、「いしずえの碑」維持管理委員会(仮称)を4団体(国民救援会・日本共産党・いしずえ会・治安維持法国賠同盟)で構成する。



設置された「いしずえの碑」(正面)

「碑文」(ウラ面) ↓



国賠署名

1人10筆をめざし、
ご協力ください。
(4月末まで)

昨年12月15日逝去された県本部前事務局長の小森修さんを偲ぶ声を紹介します。



朝日町「紋左」にて (2019. 9. 26)

小森さんを偲ぶ 富山市 平井一雄

小森修さんとの交友で最も強く思い出されることを記します。

修さんは昭和33年発行の『大沢野町誌』に「大沢野村小作争議」のことがまったく書かれていないのは当時の内野信次町長に遠慮して書かれなかったのだろうと推測されていた。

今度、新たに発行される平成17年発行『大沢野町史』にはどう書かれるか注目していると強く私

に言われたことです。当時小森さんは、山崎ちよさんや山下尚一・ソトさんの証言をもとに『大沢野村小作争議』、『大沢野村小作争議の回顧』などを編集・出版された頃であった。

私は「大沢野町史」編纂時、民俗資料調査員であったので編纂室に出入りしており、執筆担当の辻文次郎さんに『大沢野村小作争議の回顧』などを参考資料として提供していた。

結果的に、この『大沢野村小作争議の回顧』の内容が参考文献とされて発行されたのだが、小森修さんが苦勞して収集した小作争議当時の新聞写真が無断引用されたとして強く抗議されて調停にかけられた。その結果「大沢野町史」正誤表に記載され別紙添付されることになった。

「大沢野町史」正誤表 抜粋 (参考文献)

第3節第1項の「大沢野の小作争議」の全般に亘って参考とした文献・小森修編著『大沢野村小作争議』1995年3月大沢野町文化協会発行、小森修編著『大沢野村小作争議の回顧』1984年9月大沢野町文化協会発行 (以上が記載もれとなったことについて深くお詫びいたします)

そのほか思い出されるのは、西塩野「大沢野村小作争議 顕彰碑」、「泊・横浜事件端緒の地」碑、「いしずえの碑」などの建立に積極的に関われ、さらには病床にありながら「富山大空襲記念碑」建立の展望を語り設計を試みておられたのを日の当たりにした私には氏の正義感、実践の人となりに深く感銘したのです。ご冥福をお祈りいたします。 合掌

あの姿は、私の中で生きている 富山市 黒田 英夫

『あいの風』新年号で知り、驚いています。小森修さんは治維法同盟の人。メーデー会場で署名を集める姿、平和行進で大沢野地内を歩く姿、セーナー苑裁判支援で県労連に来る姿、大沢野小作農民の資料に息を弾ませる姿、図書館で県内治維法犠牲者の名簿を発掘する姿——次つぎと浮かんでいきます。ほんの事務連絡のつむりの電話がよく20分にも30分にもなりました。「戦前の罪を償わせるより、今の課題の方が面白い」と言う私に、「いや、あの国家犯罪を許さないことが今の課題なんだ」と熱く語った小森さん。小さな体がいつも“青い炎”で燃えていました。本当にいなくなったのだろうか？自分の体の半分がちぎられたような感覚で、涙が止まりません。